**第4回和漢医薬学会若手研究者フォーラム 募集要項**

**○概要**

和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会ではこれまで，学術大会の中で分野の垣根を超えた交流を目的にシンポジウムを企画してきましたが，限られた時間の中で十分な議論ができていたとは言い難い状況でした．そこで若手研究者がより活発な議論を行う場として「和漢医薬学会若手研究者フォーラム」を企画し，Web開催ではありましたが第１回フォーラム（20年度）の50名程度を皮切りに，各会100名程度の若手研究者による活発な議論が交わされました．本フォーラムの設置理念に基づき，本年度も**『第4回和漢医薬学会若手研究者フォーラム』**を実施致します．なお，フォーラムは現地開催に加え，オンラインによる参加を加えたハイブリッド開催を予定しております．また今回は，富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館のご協力をもとに同見学会を予定しております．

**○日程（予定）**

2023年8月25日 (金) ※Zoomミーティングを利用した現地およびオンラインのハイブリッド開催

＜富山大学杉谷キャンパス＞

14:00-15:20 プレナリーレクチャー

高田和幸　先生 (京都薬科大学　教授)

『多様性が織りなすシナジｰ研究に向けて　(仮題)』

15:30-17:00 自論異論・若手討論会 (一般演題)

17:00-17:30 富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館の見学会 (事前申込制，20名程度先着制)

＜各自移動＞

19:00ごろ- 懇親会 (事前申込制，富山駅周辺にて，会費制：4,500円程度)

**○募集要項**

和漢薬研究とその展望に関する若手研究者（45歳以下の学生あるいは研究者）の発表を募集します．1研究室につき1演題までとし，全体で5演題程度を予定しています．1演題あたり発表5-10分，質疑応答10-15分の計20分程度となる予定です．

一般演題募集は~~2023年7月14日 (金)~~ 2023年7月28日 (金) (延長しました)　が締切です．~~7月下旬~~8月初旬までに採択可否をご連絡します．

演題登録は，専用フォームより作成した発表要旨・略歴をPDF形式で演題登録担当の安藤 (ando@p.kanazawa-u.ac.jp) にメールの添付ファイルでお送り頂くことにより完了致します．なお，メール件名を「第4回若手研究者フォーラム 一般演題登録」として送信して下さい．また，優れた発表には「優秀発表賞」を授与する予定です．また，ご発表いただいた方には過去のフォーラム同様，後日和漢医薬学会の学術雑誌「Traditional & Kampo Medicine誌」に掲載されますSpecial report（≒開催報告）投稿にご協力いただく旨ご承知おきください．（詳しくは学会誌をご覧ください）

学会様式については，改めてご連絡致しますが，以下の2点についてご承知下さい．

1. 通常の学会と同じく，演題の撮影・録音は禁止します．また，ミラー配信も禁止します．
2. 演題提出に際し，いわゆる動画キャプチャーでの記録は技術的には制御できないことをお含みおきください．

**○参加申込**

参加費は無料です．年齢制限はありません．ただし，質疑に関しては若手研究者が優先的に行えるように，ご配慮をお願いします．

事前参加登録は2023年8月4日 (金)　が締切です．

富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館見学会はフォーラム現地参加者限定となります．受け入れ可能な参加者数に限り（20名程度）がございますので，申込先着順を基準として制限させていただく場合がございます．定員に達した場合はご希望に添えない可能性がありますこと，あらかじめご承知おきください．見学会参加の可否につきましては後日事務局より改めてメールで連絡いたします．

参加登録は，下記リンクより各自行ってください．QRコードからの登録でも同じ様におこなうことができます．

参加登録URL<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZErdeqvqzoqHN0tKxmHTT7VvKwlrM-oPaSl>

参加登録QRコード

多くのご参加を心よりお待ちしております．

**第４回若手研究者フォーラム組織委員会**

**オーガナイザー**

中嶋聡一（NPR医薬資源研究所）

吉野鉄大 （慶應義塾大学医学部漢方医学センター）

安藤広和 （金沢大学医薬保健研究域薬学系）

楊　熙蒙　（富山大学和漢医薬学総合研究所）

**運営事務局**

慶應義塾大学医学部漢方医学センター

**主催**

和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会

**後援**

一般社団法人 和漢医薬学会

**賛助会員（50音順）**

・株式会社Felicidad

・救心製薬株式会社

・小太郎漢方株式会社

・ナチュラルプロダクトリサーチ合同会社